WEEKLY REPORT

第2回　クラブ戦略フォーラム

ディスカッション内容　クラブの現状分析

クラブビジョン

男女、年齢の壁を取り除いてクラブ会員が一体化して奉仕活動に取り組み、特に子供支援を含む地域貢献や国際的な支援を積極的に実行に移し、親睦強化しながら活気あるクラブを継続的に運営していきます。

戦略計画

1, 女性入会を促進した増強強化、併せて退会防止に努める
2, 地域に特化しての奉仕活動を具体化して実行する（清掃活動等）
3, 継続事業を視野に入れて子供に対する支援を強化する
4, 国際的な活動のスタート
5, 出席率を高める為の魅力ある例会の企画・実行

各テーブルナビゲーターの方は収集した意見をデータ化し、10日（土）までに小澤会長までお送りください。

＜ニコニコ委員会＞　　**吉田俊一委員長**

並木幸雄会員

誕生日のお祝いありがとうございます。

元気で86歳になりました。

《会報編集委員》平野崇広・岡本真理子・小椋伸也・佐久間音弥・渋谷剛士

社会奉仕基金　2604円

Rotary 2023-2024年度

国際ロータリー 第2790地区 第13グループ

松戸北ロータリークラブ会報

「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

1・真実かどうか
2・みんなに公平か
3・好意と友情を深めるか
4・みんなのためになるかどうか

例会出席率　70.6%

第2422回　例会　2024年　1月24日（水）

■国際ロータリー会長　ゴードンR. マッキナリー
■第2790地区ガバナー　鵜沢　和広
■第13Gガバナー補佐　鈴木　悦朗
■松戸北ロータリークラブ会長　小澤　直之
■松戸北ロータリークラブ幹事　髙橋　一彦

■ 例 会 日 － 毎週水曜日12：30より（第1例会18：30）
■ 例 会 場 － 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
■ 事 務 所 － 松戸市八ヶ崎1-11-13　ｻﾝﾗｲｽﾞﾊｲﾂ101
■TEL/FAX－ 047-711-5950 / 047-711-5910
■Web/Mail－ www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

＜第2422回　例会プログラム＞

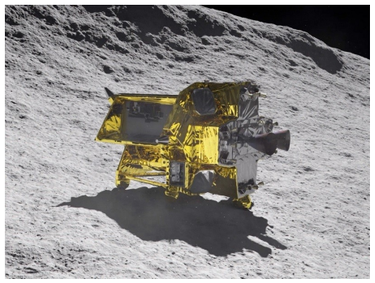
司会　関征啓会員

12:30　点鐘　小澤直之会長
　ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】
12:35　会食
13:00　例会再開
　会長挨拶･理事会報告　小澤直之会長
　幹事報告　髙橋一彦幹事
1310　第2回クラブ戦略計画フォーラム

13:25【委員会報告】
　出席親睦委員会　本日の出席率発表　大塚精一委員長
　ニコニコ委員会　本日のニコニコ発表　吉田俊一委員長
　社会奉仕委員会　本日の社会奉仕基金発表　柳孝実会員
13:30　点鐘　小澤直之会長

＜会長挨拶＞　小澤直之会長

今年に入って悲しく暗いニュースが続く中で、先週末は明るい話題がありました。
JAXAの無人探査機が20日午前0時20分過ぎに月面着陸に成功した事でメディアが湧いていました。
日本の月面着陸は初めてで世界では5カ国目となりました。今回打ち上げられた「スリム」という名称の無人探査機は去年9月7日、鹿児島県の種ヶ島宇宙センターから打ち上げられました。
12月25日には月を周回する軌道への投入に成功し、その後月に向かって段階的に降下していました。段階的と言ってもスリムは月の上空で時速約5700kmのスピードで飛行しているそうです。秒速で言うと約1.5km東京から大阪までならたった4分弱という驚異的なスピードです。このスピードでどうやって月に着陸するのか想像もつきませんし、しかも今回は他国の探査機の着地範囲が約1000mに比べて100m以内という小さい範囲でのピンポイント着陸を目指していたので、このスピードからの無事着陸は至難の技という事だったと思います。
そして今回スリムは誤差100m以下という精度で見事に着陸したとみられています。これには世界からも相当注目が集まっているそうです。



ただ、残念な事に太陽電池の発電ができていないという状況が発表されていて、搭載されているバッテリーのみでの運用をしていましたが、2時間半後にバッテリーが切れてスリムの

WEEKLY REPORT

電源が落ちてしまったとの事です。とはいえ、月面で取得したデータについては電源が切れるまでの間に地上への送信が完了していたらしいので成功といえるのはないでしょうか。
またスリムは2種類の探査ロボットを搭載していたのは、皆さんニュースで目にしているとは思います。
そのうちの一つでSORA-Qというおもちゃのような野球のボールほどの大きさの球体なのですが、JAXA、タカラトミー、ソニーグループ、同志社大学が共同開発した超小型の変形型月面ロボットです
これが月面に着陸した後、瞬時に変形して自力で走行ができるようになり、さらに前後にカメラが搭載されていて撮影した画像を地球に送信する機能まで備えている高性能のロボットらしいです。このロボットの走行にはタカラトミーの玩具ゾイドや変形には皆さんおなじみのトランスフォーマーのノウハウが生かされているので、これをきっかけに宇宙に興味をもつ子供達も増えればいいですね。そしてこの2種類の探査ロボットはスリムの降下中に月に放出されたとのことですが運用出来ているかどうかの確認は1～2週間かかるとの事ですが、SORA-Qが撮影した月の映像を是非見てみたいものです。
また今回、残念ながら発電に失敗してしまった宇宙用太陽光パネルですが、結果はどうあれシャープが長期間かけて開発したのがフィルム状の太陽光パネルです。軽量化とはいえ、ここまで薄く出来るのかというくらいの太陽光パネルでした。というより太陽光フィルムというほうが妥当かもしれません。それこそ、災害対策などに有効利用出来そうなアイテムだなと思いました。
そのうち日本人初の月面着陸成功！とかいうニュースもそう遠くないのではないかと思い、日本の研究と高い技術に期待が高まります。

＜ダイバーシティ観戦報告＞　柳孝実会員

2024年1月14日、ダイバーシティA.C.千葉の選手が出場する「第27回千葉ゆうあいピック駅伝」が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で開催されました。
支援を開始して以降、コロナ禍が続きリアル応援に行く機会に恵まれませんでしたが、今回初めて松戸北ロータリークラブの有志で応援に行くことができました。
ダイバーシティA.C.千葉がエントリーした男子ハーフの部は、5チームが参加し、各チーム6人の選手で襷をつないでいくものでした。一言に知的障害と言っても、傷害の重さには個人差があり、伴走者を伴って走られる選手もいました。6区間は長い区間で4.97キロ、短い区間は1.47キロに設定されており、障害の重い選手も参加できるように工夫されているのだと感じました。参加された選手全員が襷をつなぎ完走される姿に感動してしまい、応援している我々の方が元気をいただいた気がしました。ダイバーシティA.C.千葉は見事に優勝されましたが、私の眼には参加された選手全員が自身の抱える障害を乗り越えて走り切った勝者に映りました。勝ち負け以上の感動がこの大会にはありました。
最後になりましたが、応援に参加いただいた小澤会長、平田会員、野澤会員、平野会員、佐久間会員ありがとうございました。